

---

# 涼宮ハルヒの削除

AK28号

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

涼宮ハルヒの削除

### 【Nコード】

N8743J

### 【作者名】

AK28号

### 【あらすじ】

キヨンのもとに現れた謎の転校生、神谷西。  
一体彼は何者か？

## 第1話

神谷西（前書き）

あつ 涼宮の出番忘れてた

## 第1話 神谷西

岡部「転校生の神谷西くんだ」

神谷「……………」

岡部「神谷くん？挨拶」

神谷「……神谷です」

岡部「……………」

何だかガラの悪い男子がそこにいた。

岡部「じゃあ神谷くんはそこに座って」

神谷「うえーい……」

キヨン「（げっ俺の隣か……）」

神谷「よろピク」

キヨン「！」（今……俺に言ったのか？）

その後もその神谷という奴は  
先生に当てられる度、即答で

「知らね」と言ったり……

物理の時間俺を凝視して来たりした。

キヨン「さて部活行くか、」

神谷「……………」

キヨン「（なんで…神谷もついて来るんだ？）」

キヨン「何でついて来るんだ？」

神谷「いいから、いいから気にしないで」

キヨン「（気になるわ！！！！）」

結局、神谷は部室までついて来た。

神谷「SOS団…助け求めてんの？」

キヨン「（今は…俺に聞いたのか？）」

神谷「おじゃまします」

キヨン「あっおい…」

みくる「えっ」

古泉「！」

長門「……………」

神谷「……………」

キヨン「……………」

神谷「ねえ…」

キヨン「ん？」

神谷「助け求めてねーじゃん」

キヨン「（部室に入って第一声がそれか…）」

神谷「だんちょう？ああー部じゃなくて団だもんな」

キヨン「あんまり触るな」

神谷「で団長って誰？お前？」

キヨン「（俺が団長だったらもっとまともな活動するよ…）」

古泉「失礼ですが貴方は？」

神谷「転校ちえーです」

みくる「転校生？」

キヨン「うちのクラスに転校して来た神谷西ですよ」

みくる「へえー…」

長門「……………」

神谷「あれ？これってマジックカードのトレカじゃね？？懐いー」

古泉「……………」

神谷がいなくなった後

俺は古泉に呼ばれた。

古泉「他でもない神谷さんの事です…」

キョン「ああ…言っちゃあ何だが嫌いなタイプだな」

古泉「いえそういう事ではなく」

キョン「？」

古泉「実は彼が転校して来る事は今日まで我々の機関に全く情報がなかったんです」

キョン「？と言うと」

古泉「わかりませんか？嚴重に監視されている筈のこの学校のデータが今日まで不明だった」

キョン「！……………ハルヒ絡みか？」

古泉「恐らく」

その後長門にも呼び出された。

長門「神谷西は怪しい」

キヨン「古泉から聞いた」

長門「彼からは本来有機生命体としてある筈の情報が全く存在しない」

キヨン「有機生命体としてある筈の情報？」

長門「血液、骨、筋肉が存在しない。つまり彼は有機生命体ではない」

キヨン「長門と同じ情報何たらっ事か？」

長門「そうではない。そもそも彼には生体反応がない、生物ではない可能性もある」

キヨン「マジか…」

一体、神谷西とは何者なんだ？



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8743j/>

---

涼宮ハルヒの削除

2010年10月9日21時44分発行